

幸清会理事長／56歳で藍綬褒章

大久保氏の受章祝う



祝賀会で感謝の言葉を述べる大久保理事長

褒章。56歳という年齢で受章するのは例が少ないという。

祝賀会では、社団法人北海道認知症グループホーム協会の石川秀也顧問が発起人代表としてあいさつ。「研究者としても実践者としても経営者としても多大な貢献をされた」と祝福した。祝杯の後に大久保氏の功績を紹介する映像とともに、職員による祝福メッセージなどが上映された。

あいさつに立った大久保氏は「多くの方が祝福してくれる。57年の人生でこんなにつれしいことはない。褒章受章は本当に皆さまのおかげです」とあらためて感謝の言葉を述べていた。(北川誠)

【札幌】平成23年春

の褒章で藍綬褒章を受章した大久保幸積氏(社会福祉法人幸清会理事長)の受章記念祝賀会が18日、札幌市内のホテルで開かれ、関係者ら約300人がこれまででの功績をたたえ、労をねぎらった。

大久保氏は、大滝福祉会理事長や特別養護老人ホーム幸豊ハイツ施設長として働く傍ら、認知症ケアや先駆的施設福祉の取り組みで地域をはじめ全国的に活動してきた。藍綬褒章は社会福祉に功績のあった人に贈られる